

(仮称)次期佐原広域交流拠点運営等事業に関するサウンディング調査  
別添資料3  
各施設・エリア説明資料

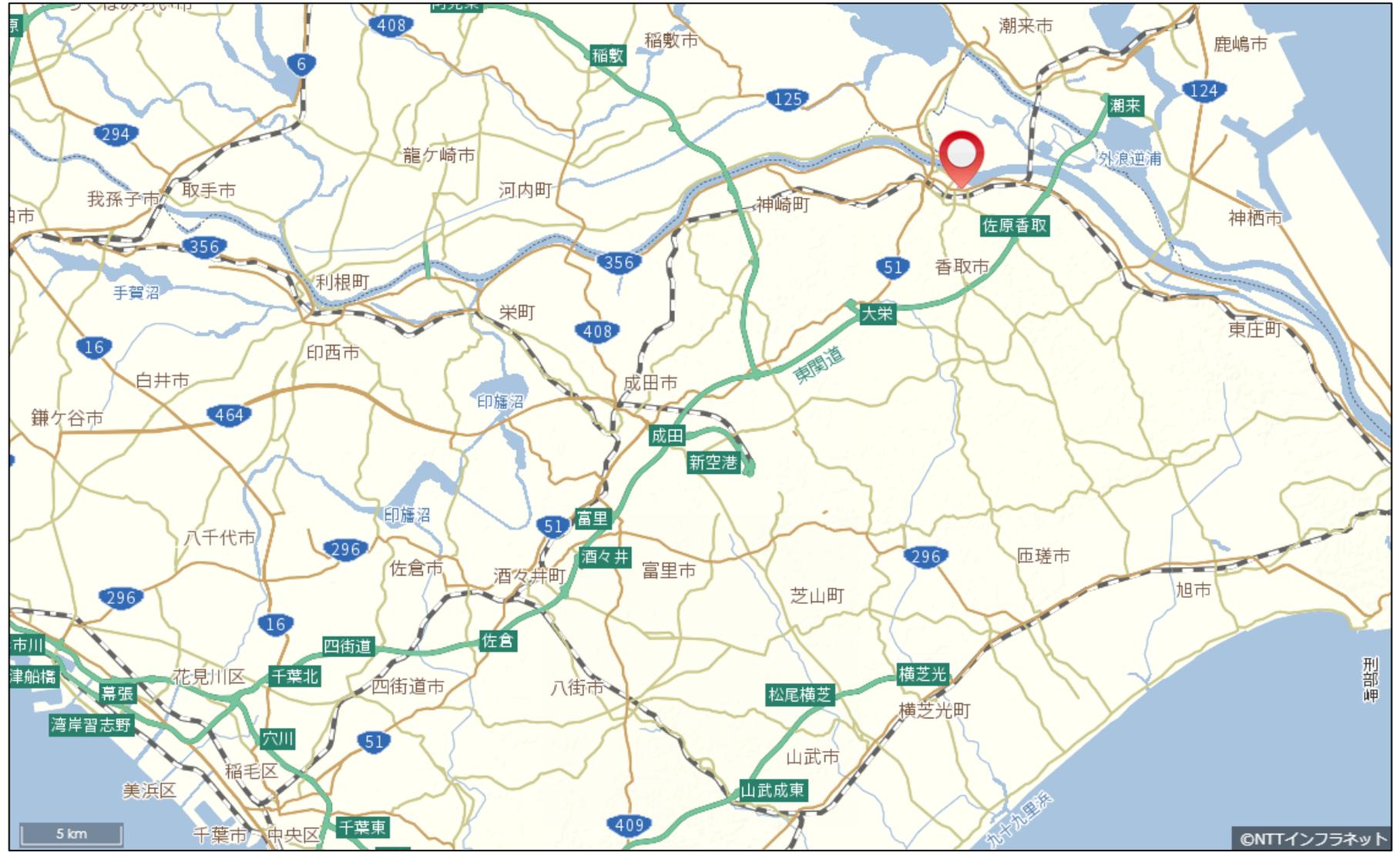
---

令和4年9月  
香取市  
利根川下流河川事務所

# 1. 本施設の概要

## (1) 本施設の立地

本施設は、利根川右岸約38.5km付近に整備されたスーパー堤防（本宿地区高規格堤防）上に整備された施設であり、国道356号に隣接する他、水郷の歴史的町並みが小野川周辺に広がる香取市佐原地区から約1kmの位置に立地しています。



# 1. 本施設の概要

## (2) 本施設の概要

本施設は、4つの拠点機能（①防災拠点、②水辺利用拠点、③文化交流拠点、④交通拠点）を併せ持ち、佐原地域の都市再生に寄与する新たな水辺の広域交流拠点として整備されています。

区域内には、下図の通り、水辺交流センターや河川利用情報発信施設、車両倉庫、佐原河岸、利用ゾーン（川の駅）、地域交流施設（道の駅）等が整備されています。



# 1. 本施設の概要

## (2) 本施設の概要 (続き)



# 1. 本施設の概要

## (2) 本施設の概要 (続き)

本施設を構成する主な個別施設は以下の通りです。

※ 国所有施設

香取市所有施設

施設		備考
高規格堤防		※PFI管理対象外
歩行者・自転車等	車両用坂路	
	歩行者用坂路	
	広域自転車道	
河川防災ステーション	ヘリポート	※PFI管理対象外
	大型駐車場	
	資材置場(芝生広場)	
	資材置場	
	場内道路	※PFI管理対象外
植栽帯		
車両倉庫		構造:S造1階 延床面積:約360㎡
河川利用情報発信施設	情報施設	
	建設機械展示場(屋外)	構造:S造2階 延床面積:約1,490㎡
	建設機械倉庫	
水辺交流センター	水防倉庫等	
	情報収集室／水防従事者休憩室	構造:S造2階 延床面積:約830㎡
	水防従事者控室(飲食施設)	
	レンタサイクル	
地域交流施設(道の駅)	地域振興施設	
	飲食施設	
	多目的コーナー、情報PRコーナー	構造:S造2階 延床面積:1,110㎡
	交通安全施設	
駐車場		普通車146台(障がい者対応4台) 大型車22台 大型自動二輪20台

施設		備考	
エントランス広場			
修理ヤード			
河川環境施設 佐原河岸	利用ゾーン(親水)	ふれあい水路・水辺	
		観察用通路・礫場	
		カヌー乗り場	
		河川敷臨時駐車場	
	利用ゾーン(湿地)	観察用通路	
		湿地	通常は立入禁止
		航路	※PFI管理対象外
		環境護岸	
		船舶昇降スロープ	
		ボートヤード	
		係留棧橋	
		舟運発着所	
		水辺広場	
		ボードウォーク	
転落防止柵			
散策路			
佐原ドック			
巡視船棧橋	※PFI管理対象外		
緊急船着場			

## 2. 車両倉庫



## 2. 車両倉庫

### (1) 概要

利根川下流河川事務所の災害対策車両及び関連する備品を保管する倉庫として利用されています。

構造：S造 1階 延床面積：約360㎡

### (2) 詳細

#### ●災害対策車両

利根川下流河川事務所が所持する照明車1台、ポンプ車2台が配備されており、災害時には本倉庫から出動します。

「川の駅」建物にも車両倉庫が1台分ありますが、現在は防災用備品が備蓄されています。

#### ●見学設備

倉庫側面に見学スペースが設けられており、施設利用者が倉庫内の車両を横から見るすることができます。

#### ●旧横須賀海軍建物の木造トラス・クレーン

本事業敷地には、2001年まで国の「佐原工作出張所」が立地しており、旧横須賀海軍の建物（木造トラス構造）が1954年に仕上げ工場として移築され、1997年まで使用されました。

旧日本海軍の軍事施設という側面と、利根川改修に果たした佐原工作出張所の大きな役割の両側面を併せ持つ歴史的な建築物であることから、本倉庫において木造トラス・クレーン部分が現在まで保存されています。（右側写真）



照明車(手前は見学スペース)



旧横須賀海軍建物の木造トラス



### 3. 河川利用情報発信施設 (「川の駅」施設 国所有部分)



## (1) 概要

香取市と国土交通省が区分所有する「川の駅」建物の国所有部分は、「河川利用情報発信施設」として、平常時は防災教育拠点、災害時は災害対策拠点の機能を有しています。

構造：S造2階 延床面積：約1,490㎡

## (2) 1階部分詳細

### ●さわらホール

「川の駅」建物の玄関口である吹き抜け部分では、「佐原の大祭」などの地域に関連した展示を行っています。

### ●建設機械倉庫・建設機械屋外展示

国の「佐原工作出張所」で使用していた建設機械や浚渫船などを屋内・屋外で展示しています。

### ●自家発電設備

非常時に「川の駅」施設に電源を供給する自家発電設備を有します。開業2年目に発生した東日本大震災では、大規模な停電が発生したことから避難所として活用されました。



建設機械倉庫

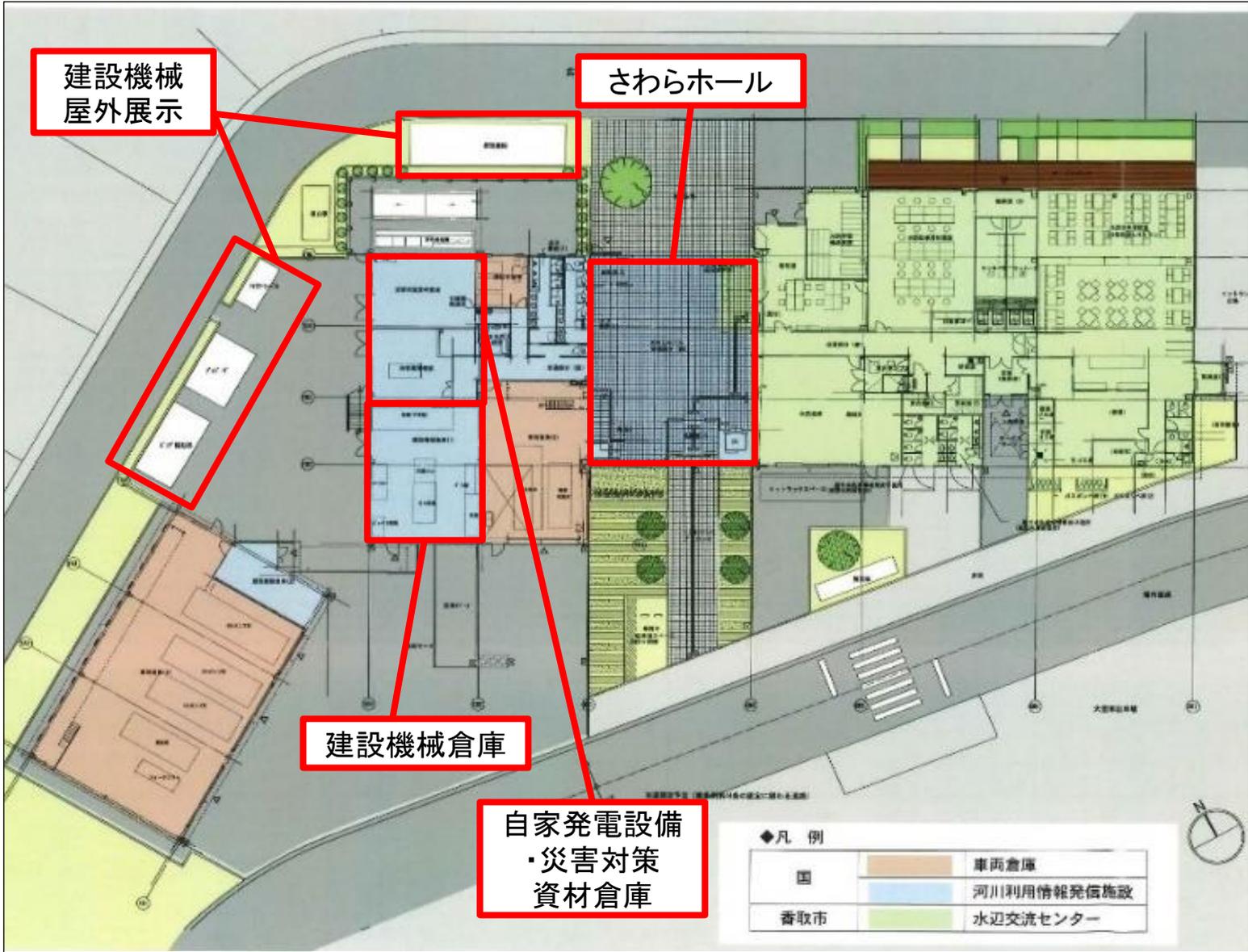


さわらホール



建設機械屋外展示

## (2) 1階部分詳細(続き)



「川の駅」1階施設図

## (3) 2階部分詳細

### ●防災教育展示室

利根川の特徴や過去の水害の記録、防災に必要な知識などを、パネル展示、映像、模型資料などを通じて学ぶことが出来る施設です。施設利用者は無料で観覧できるほか、学校教育にも多く活用されています。

営業時間：9:30～16:30

休館日：月曜日（祝日のときは翌日）、年末年始、施設点検日

#### ・利根川何でも発見コーナー

利根川の概要から、治水技術の概要まで、地図やパネルで学ぶことができます。

#### ・歴史・文化発見コーナー

昔栄えた水運(蒸気船)の実態や、豊富な漁業資源(各種魚、漁)など、佐原や利根川の歴史・文化を学ぶことができます。

#### ・治水技術発見コーナー

水害の歴史や様々な治水技術の歴史から、現在の対策技術までに至る工夫を知ることができます。

### ●災害対策支援室(多目的研修室・施設事務室)

平常時は、会議室や団体客の飲食スペースとして、災害時は対策本部として使用するスペースです。

施設事務室には、「印旛沼開発文庫」にアクセス可能な端末があり、印旛沼、利根川水系、農業水利、土地改良などの図書を中心に広範な水に関わる文献・資料約10万冊を閲覧できます。



利根川流域の床面ハザードマップ  
(利根川何でも発見コーナー)

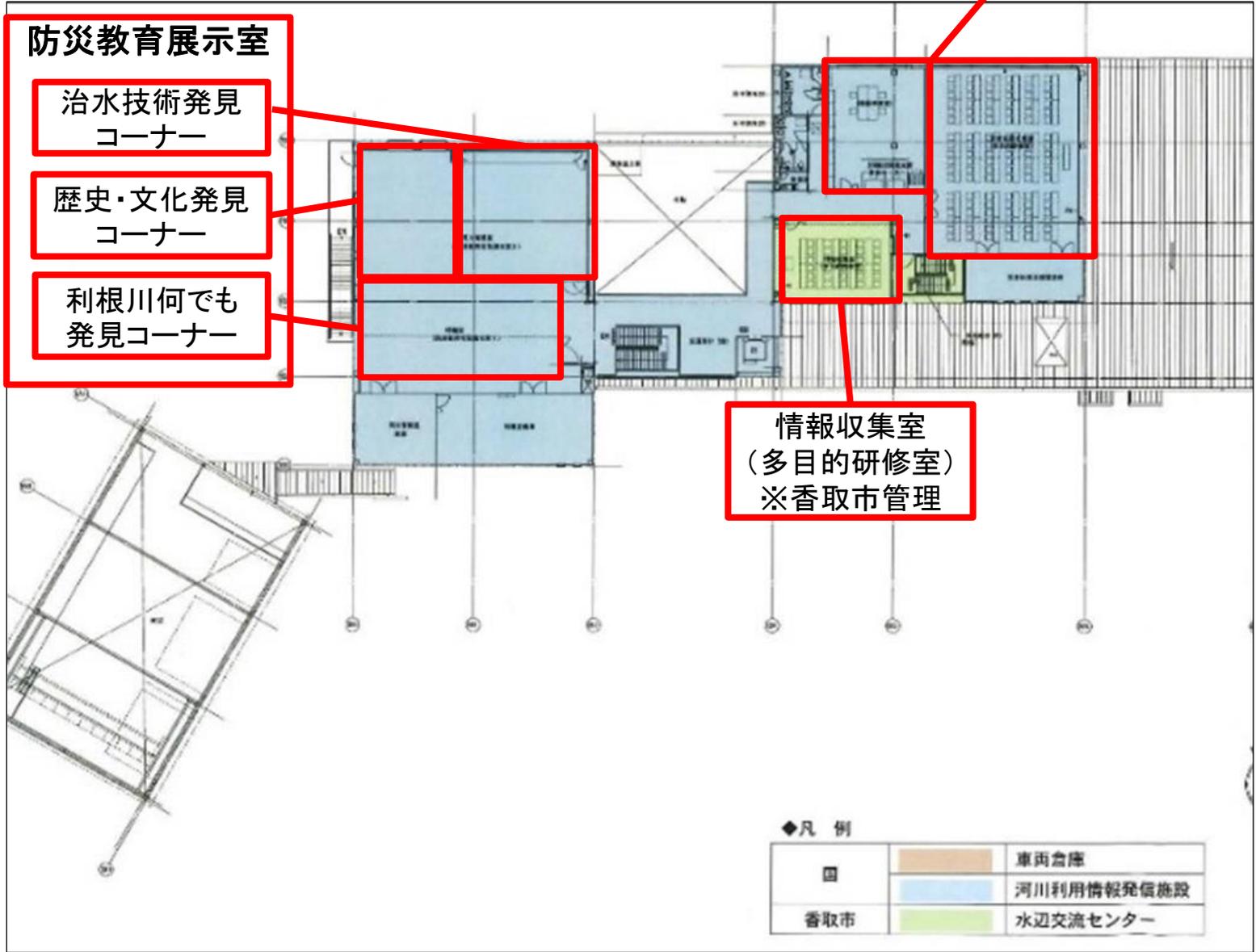


映像「利根川物語」(歴史・文化発見コーナー)



災害対策支援室(平常時)

## (3) 2階部分詳細(続き)



「川の駅」2階施設図



## 4. 水辺交流センター (「川の駅」施設 香取市所有部分)



## (1) 概要

香取市と国土交通省が区分所有する「川の駅」建物の香取市所有部分は、「水辺交流センター」として、平常時は特産品販売・カフェやマリナーなどの水辺交流拠点、災害時は災害対策拠点の機能を有しています。

構造：S造2階 延床面積：約830㎡

営業時間：9:30～16:30 休館日：月曜日（祝日のときは翌日）、年末年始、施設点検日

## (2) 詳細

### ●地域物産館(災害時:水防従事者控室)

地域の海産物・畜産物・銘菓など、いわゆる土産物を取扱う、イーフトインスペースを備えた物販スペースです。当初は飲食施設として整備されましたが、運営開始時に用途を変更しています。

### ●カフェ(災害時:水防従事者休憩室)

平常時はカフェとして飲み物や軽食を提供するほか、マリナー利用者の休憩スペースとして利用されています。テラス席あり。

### ●更衣室・シャワー室

マリナー利用者向けの更衣室・シャワー室で、1回380円で利用できます。



地域物産館



更衣室・シャワー室入り口



カフェ

## (2) 詳細(続き)

### ● レンタサイクル

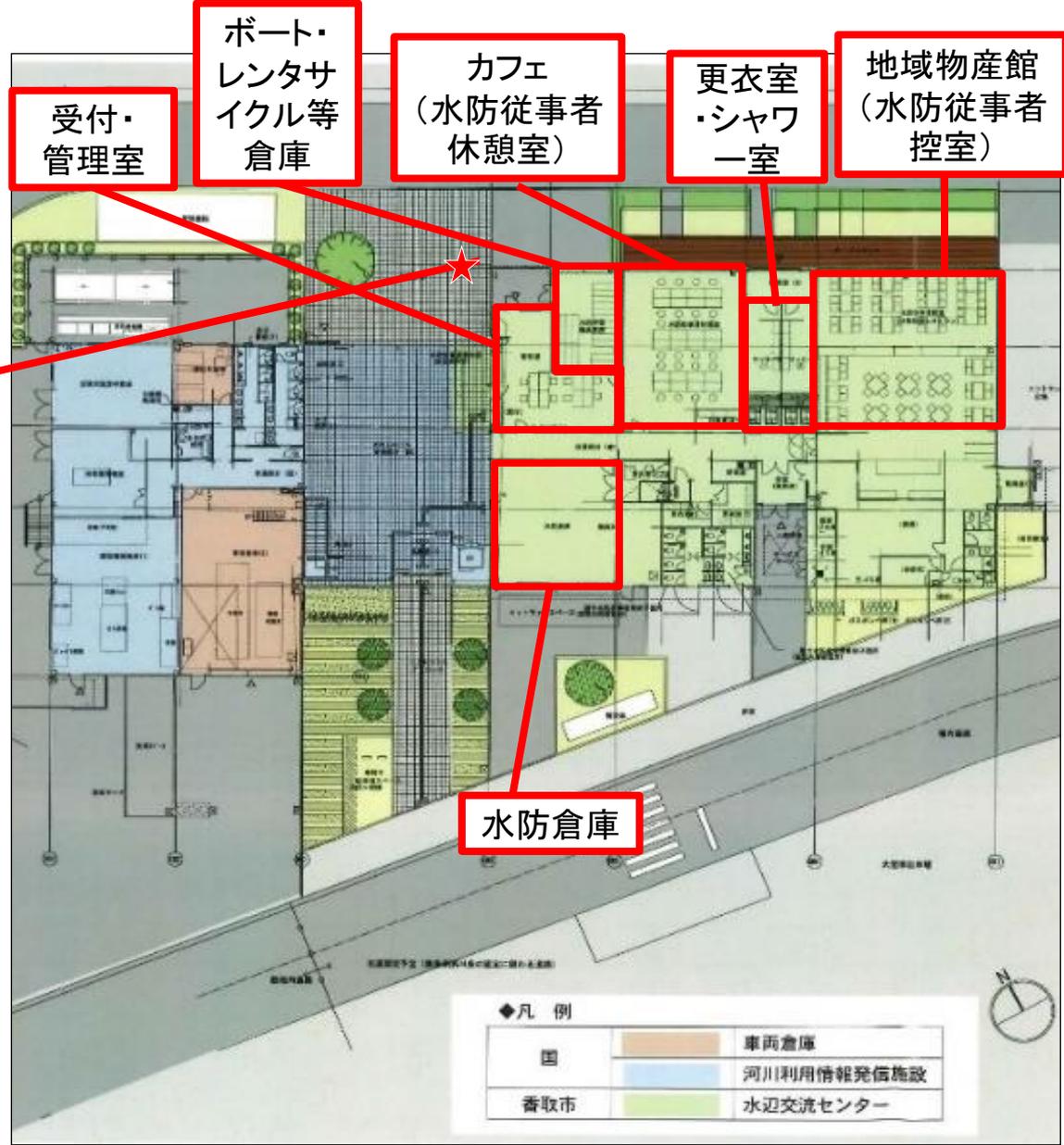
1回500円のレンタサイクルを利用し、佐原市街や大利根サイクリングロードを自転車で周遊できます。



屋外に並ぶレンタサイクル(普段は奥の倉庫に格納)

### ● 水防倉庫

香取市が所有する水防用備品のほか、本施設の運営・維持管理に使用する備品やレンタサイクル等を格納しています。



「川の駅」1階施設図



## 5. 地域交流施設(「道の駅」 香取市所有)



# 5. 地域交流施設(「道の駅」香取市所有)

## (1) 概要

香取市が所有する「地域交流施設」は、道の駅の登録を受け、特産物直売所、フードコート、情報発信スペース、24時間使用可能なトイレを備えた施設です。

構造：S造2階 延床面積：1,110㎡→1,412㎡（特産物直売所花売り場増築後）

## (2) 詳細(地域振興施設)

営業時間：8:00～18:00（年中無休、施設点検日等を除く）

### ●特産物直売所

食品（野菜、魚肉加工品、惣菜、菓子など）や花、手芸品などの特産物を主に取り扱う物販施設です。観光客のみならず地域住民の日常利用も多く、本事業で最も利用者数が多い施設です（トイレ除く）。

特産品直売所の川側は、利用需要の増加によりH29年に増築されました。

### ●フードコート

フードコートには4店舗が出店しており、セルフサービスで食事をとることが出来ます。

### ●バックヤード

特産物の搬入・加工・保管・梱包、フードコートの調理を行うバックヤードが川側に並んでおり、開業以降、作業場部分の増築や物置の設置がなされています。

また、2階部分に道の駅の事務所・従業員ロッカー・休憩室、バス乗務員休憩所を備えます。



特産物直売所(食品売り場)



特産物直売所(花売り場)



フードコート

# 5. 地域交流施設(「道の駅」香取市所有)

## (3) 詳細(交通安全施設)

### ●休憩所・情報コーナー

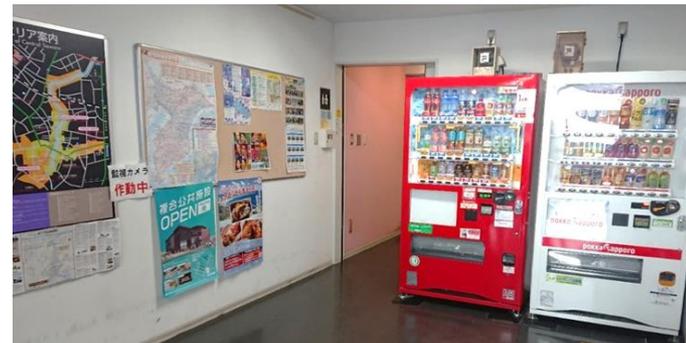
災害時でも稼働する飲料自動販売機や、香取市等からの情報を掲示するスペースを備えます。奥には施設唯一の授乳室があります。

### ●駐車場

普通車146台(障がい者対応4台) 大型車22台 大型自動二輪20台  
電気自動車(EV)充電機1基  
休日は駐車場容量が不足傾向にあり、H30年に増設しています。

### ●24時間トイレ

道の駅として、地域交流施設のトイレは24時間使用可能です。



休憩所・情報コーナー



駐車場

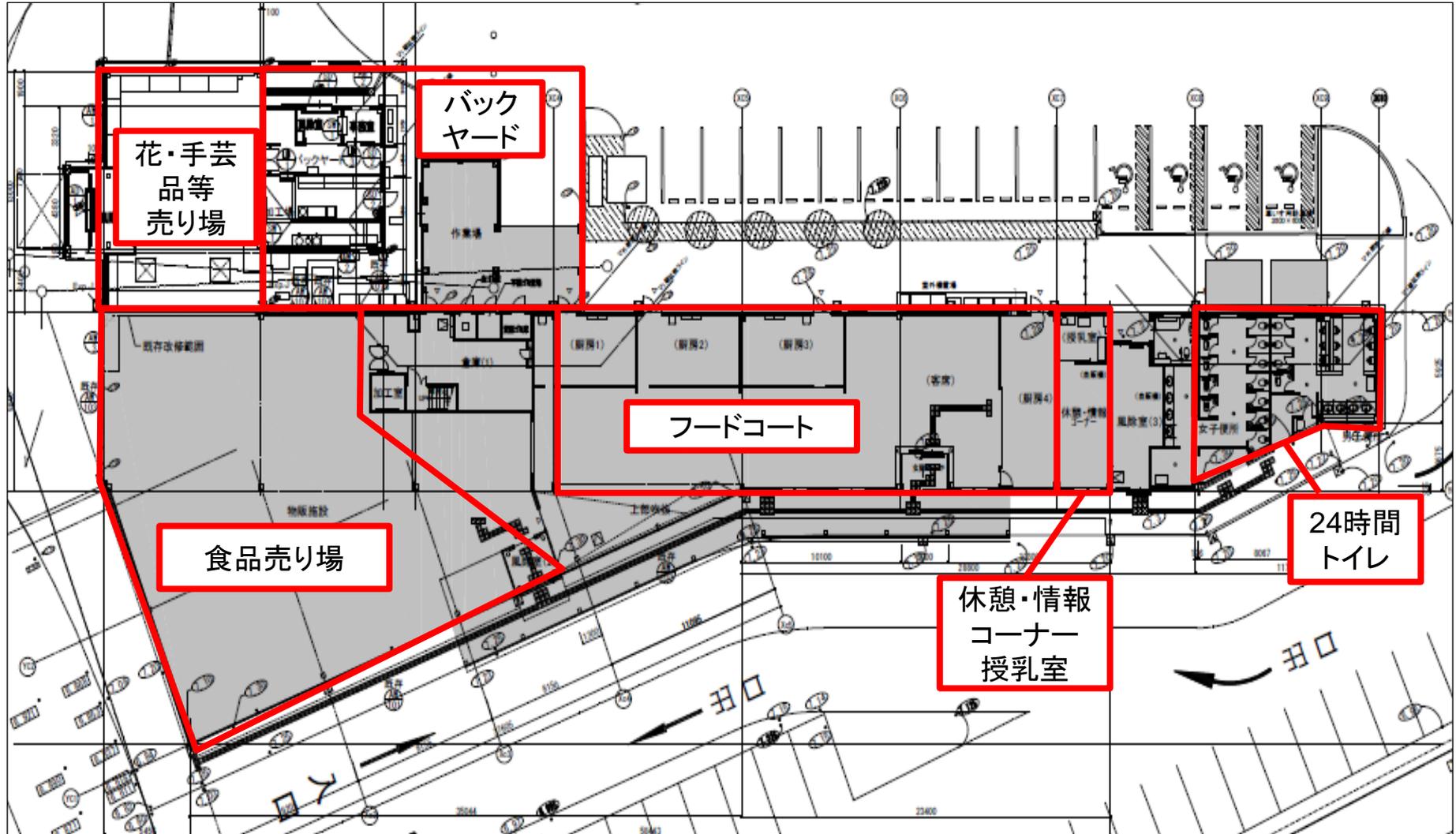


男子トイレ



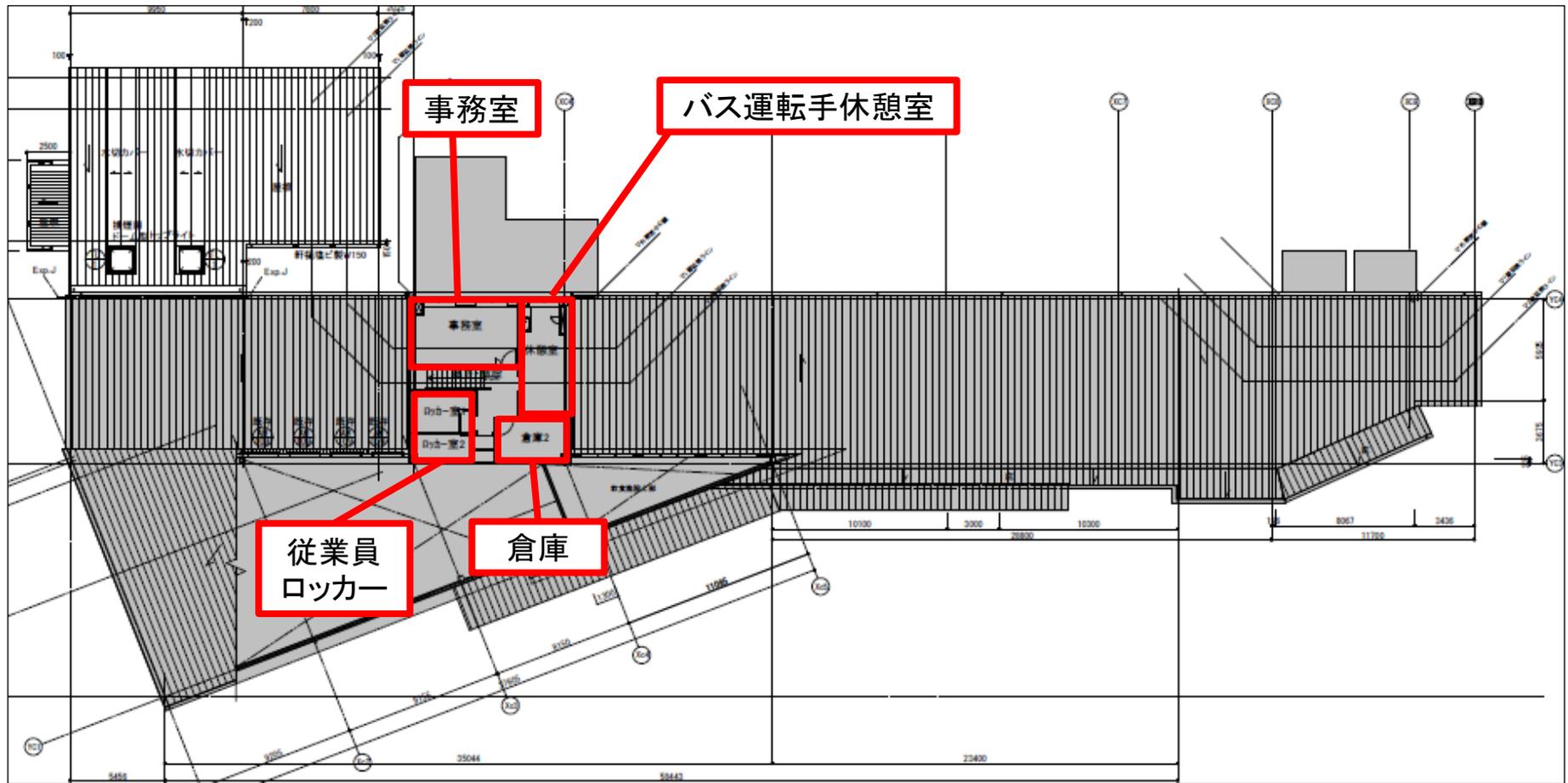
授乳室

## (4) 1階部分詳細



地域交流施設1階施設図

## (5) 2階部分詳細



地域交流施設2階施設図



## 6. 利用ゾーン(親水)



## 6. 利用ゾーン(親水)

### (1) 概要

「水とのふれあいを推進するゾーン」として、カヌー・ボートコース及び観察用通路が整備されています。

### (2) 詳細

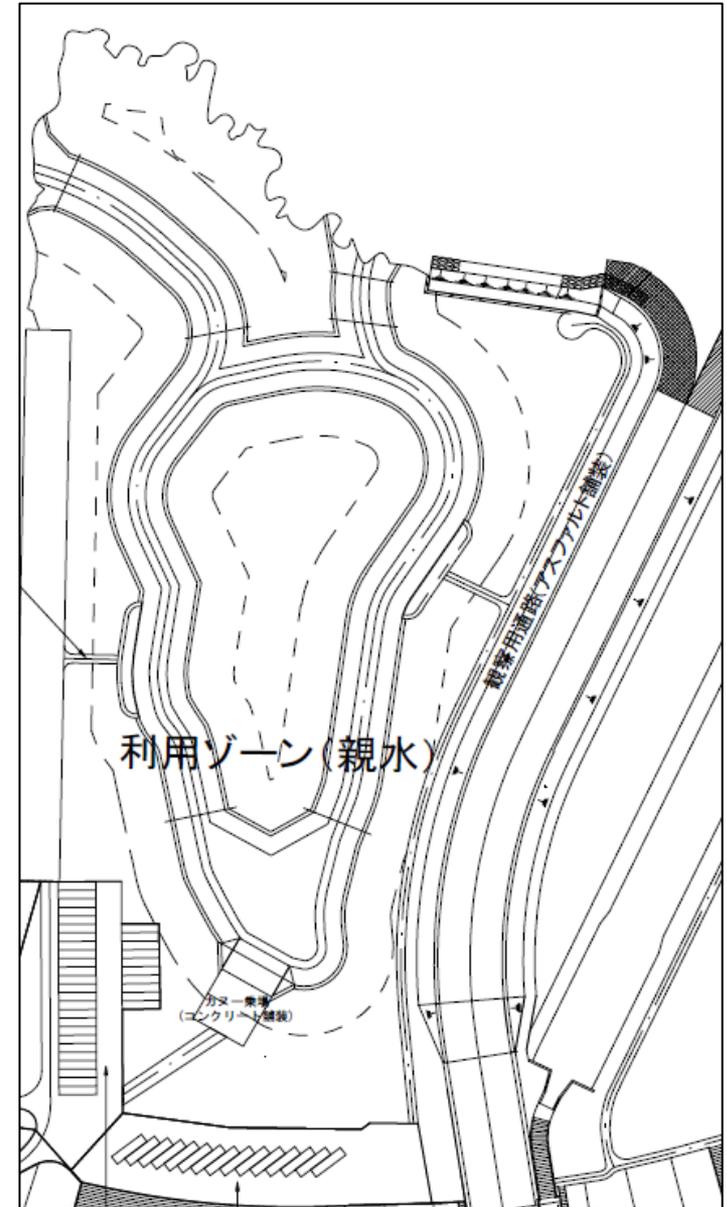
#### ●カヌー・ボートコース

カヌー・Eボートで周回することが可能なコースです。利用は水辺交流センターで受け付けています。

なお、カヌー講習者が常駐していないため、イベント時のみ貸出しが可能です。平常時のカヌーは利用者持込のみです。

#### ●観察用通路

カヌー・ボートコースの東側に、利用者が利根川や水辺の植物を観察できる通路を設けています。



利用ゾーン(親水)図

## 7. 利用ゾーン(湿地)



# 7. 利用ゾーン(湿地)

## (1) 概要

「自然環境を回復・保全するゾーン」として、ヨシが繁殖する湿地環境の保全を図るゾーンです。環境保全のため湿地内は立ち入り禁止となっており、利用者は観察用通路から観察が可能です。

## (2) 詳細

### ●整備・維持管理について(PFI事業外)

冠水等の自然の営力を許容しながら湿地環境の復元を目指していく性格上、湿地復元の過程が予測困難であることから、整備や維持管理のリスクを民間事業者が負担するのは困難であると判断し、PFI事業の範囲外として国の直轄事業で整備・維持管理を実施しています。

### ●現在の湿地環境

開業時から実施しているモニタリング調査にて、ヨシの繁殖の回復傾向を確認しています。



利用ゾーン(親水)(湿地)図



## 8. 佐原河岸



# 8. 佐原河岸

## (1) 概要

従来型公共事業で整備されている環境護岸、船舶昇降スロープ及び緊急船着場等を活用し、これらの施設と一体的にポートヤード、係留棧橋、舟運発着所、水辺広場、ボードウォーク、転落防止柵、散策路を整備し、水辺や水面の利用の場等として維持管理、運営を実施しています。

## (2) 詳細

### ●係留棧橋

モーターボートや水上バイクが離着岸可能な棧橋です。係船ビーム棧橋、フロートタイプ棧橋を備え、利根川上流・下流や十二橋方面への航行に利用されています。棧橋利用料を支払うことで利用できるほか、船舶免許所有者へのボートの貸し出しも実施しています。



係留棧橋

### ●船舶昇降スロープ

プレジャーボート等の船舶を車両から昇降できるスロープです。利用料を支払うことで、昇降スロープの利用のほか、施設車両を利用した上下架サービスが利用できます。



船舶昇降スロープ

### ●舟運発着所(観光船乗り場)

さっぱ舟やモーターボート・大型遊覧船（現在運休中）による、小野川沿いの佐原市街地や、対岸の与田浦などに向かう観光船が発着します。



舟運発着所

# 8. 佐原河岸

## (2) 詳細

### ●水辺広場

川の駅の北側には、芝生区画とコンクリート舗装区画による広場が整備され、利根川の景観や水辺の動植物を観察できるオープン空間となっています。テーブル・ベンチで特産品直売所で購入したお弁当などを食べる利用者や、ボードウォッチングを楽しむ利用者の姿が見られます。

各種イベントも開催されており、コンサートやミニライブなどのショーイベントの際は、河岸に降りる大階段が座席として利用されます。



水辺広場・大階段(奥側)

### ●佐原ドック

国の「佐原工作出張所」で利用されたドックが保存されています。運用を終えた浚渫船が展示され、両脇のボードウォーク（木製歩道）から見るができます。

ドックの北側の河川敷には、佐原大祭時などの臨時駐車場として活用されるスペースや、佐原市街から流れる小野川の水門があります。



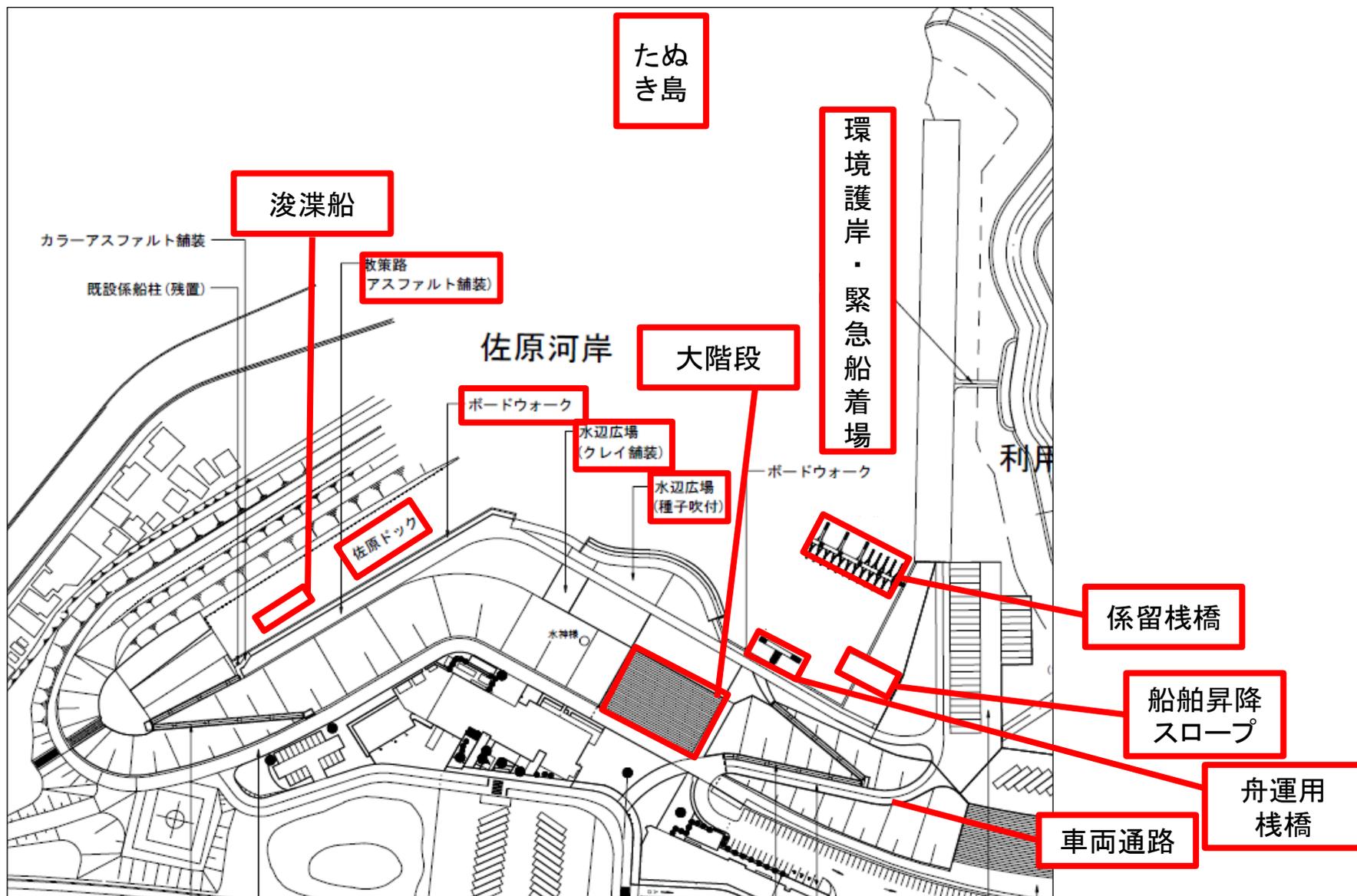
佐原ドック



災害対策支援室(川の駅2階)からの佐原河岸の眺望

# 8. 佐原河岸

## (2) 詳細(続き)



佐原河岸図

## 9. 河川防災ステーション



# 9. 河川防災ステーション(国所有部分)

## (1) 概要

水防活動を行う上で必要な土砂などの緊急用資材を事前に備蓄しておくほか、資材の搬出入やヘリコプターの離着陸などに必要な作業面積を確保する、国土交通省が所有する施設です。

洪水時には市町村が行う水防活動を支援し、災害が発生した場合には緊急復旧などを迅速に行う基地となるとともに、平常時には地域の人々のレクリエーションの場として、また河川を中心とした文化活動の拠点として大いに活用される施設です。

構成施設：ヘリポート、大型駐車場、資材置場、植栽帯等  
面積：約4.5ha



出典：「河川防災ステーション活用事例集(国土交通省)」  
河川防災ステーションの現況写真



河川防災ステーションの現況写真(川の駅屋上より撮影)

# 9. 河川防災ステーション(国所有部分)

## (2) 詳細(河川防災ステーション)

### ●ヘリポート

洪水時に人命救助や資材運搬等のために使用するヘリポートです。

### ●大型駐車場

大型車両が使用する駐車場（大型車25台）です。

### ●資材置場

洪水時に必要な資材(根固めブロック、割栗石等)を配備しています。また、大型駐車場に隣接する資材置場は芝生広場として管理しています。



ヘリポート(PFI管理対象外)



資材置場(芝生広場)



大型駐車場



資材置場(PFI管理対象外)



根固めブロックの配備(PFI管理対象外)